

西東京市

図書館だより

平成14年(2002年)1月5日

第4号

中央図書館
西東京市南町5-6-11
(0424)65-0823

谷戸図書館
西東京市谷戸町1-17-2
(0424)21-4545

下保谷図書館
西東京市下保谷4-3-18
(0424)21-3060

柳沢図書館
西東京市柳沢1-15-1
(0424)64-824

芝久保図書館
西東京市芝久保町5-4-48
(0424)65-9825

ひばりが丘図書館
西東京市ひばりが丘1-2-1
(0424)24-0264

編集・発行：西東京市図書館

西巻茅子氏文化講演会

「絵本と子育て—幼児期に絵本に接する大切さ—」

平成13年9月30日(日)午後2時より、こもれびホール3階小ホールにて西東京市中央図書館主催による文化講演会が実施されました。

これは、国の少子化特例交付金を活用して実施されたもので、講師に絵本作家の西巻茅子さんを迎え「絵本と子育て—幼児期に絵本に接する大切さ—」と題してお話いただきました。

昼過ぎから小雨のバラつくあいにくのお天気でしたが、小さなお子様をお持ちのお母様や絵本に興味のある方々などを中心に、約100名の参加がありました。

以下抜粋ながら、当日の講演を紹介します。

1、絵本作家になつたきっかけ

油絵画家を父に持つ家庭に育ち、幼い頃からずっと絵を書いていた西巻氏にとって「絵を描く」ことは、一番身近でごく自然なことでした。東京藝術大学美術学部卒業後、絵を描くことを職業とし、絵を描くことで社会との関係を結びたいと思いながら「子どものアトリエを開きます。」



そして、そんな時知り合った作家から、子どもの本が書ける人だと見初められたことがきっかけとなつてこぐま社を紹介されました。こぐま社編集部からすすめられるままに製作・出版した絵本が『ポタンくんに』で、1967年、作者28才の頃でした。その後「1年に1冊の出版」、編集部との約束通り2年目に『まこちゃんのだんじょうび』3年目に『わたしのワンピース』を出版し、絵本作家・西巻茅子氏は誕生しました。

1作目を作った後に絵本を勉強したという西巻氏、絵本とはおはなしにあわせて1枚1枚の絵があるわけではなく、1冊のなかには1枚の絵がありそれを幾つかに分けて描くこと。つまり絵本の絵は1冊全体で1枚の絵が完成するように描くことと思つたそうです。

(2ページへつづく)

2、「子どものアトリエ」にきた子どもたち

「子どもって何だろう？」西巻氏が絵本を描くにあたって、ずっと考えてきたことです。そして、その答えのヒントをくれたのが、「子どものアトリエ」にくる子どもたちでした。

「子どものアトリエ」は、3才〜小学校2年生の子どもたちが用意された画用紙と絵の具を使って、自由に好きな絵を描く教室ですが、その作品には毎回感動を覚えているそうです。子どもたちは、皆素晴らしい表現者です。それゆえ素晴らしい作品を理解する力も持っています。人々はいろいろな表現法を使って「心」を育てています。無文字社会の人々は刺繍や絵などによって「心」を育てます。文字を覚える前の子どもたちも条件的には変わりません。子どもは人間の原点であり、幼い頃から「心」を育てることは重要です。そして「心」を育てるひとつに絵本があると西巻氏は言います。

絵本作家として、子どもが喜んでくれる絵本を描きたいという思いを常に持ち、自分以外の人間が自分の絵を見て感動してくれると

元気がもらえ、次の作品への意欲となるそうです。

3、子育てから学ぶ

自分の子育てから学んだことは、子どもは好きなものがはつきりしているということ、そしてそれは、ある程度共有化されているということ。

これは、絵本においても例外ではありません。たとえば、子どもたちの好きな絵本作家に加古里子氏がいいます。なぜ支持されるのか？作品の中に子どもたちへ伝えたいメッセージが一生懸命描かれていくからです。子どもたちはそんな書き手の心を読みとっているのです。絵本を見る目は大人より子どものほうが信頼できる。とおっしゃっていました。

4、自作論について

絵本『わたしのワンピース』は、子どもが応援し、選り出してくれた作品だそうです。当初この作品は「飛躍がありすぎて子どもにはわからない」と言われました。しかし、それは大人の思考であり、子どもたちは純粋に絵を見て、楽しみ、喜んでくれました。子どもたちにとっては、文字やストーリーから理解させるより、

絵を見て楽しんでもらうことのほうが大事です。

「絵本には奥深い内容がいっぱい詰まっています。子どもにはそれを読み取る力があります。子育てをしながら、子どもたちと一緒に絵本を楽しんで欲しいと思います」という言葉が締めくくりとなりました。

そして、質疑応答・感想などの後、予定時間をオーバーして講演会は終了しました。

常に「子どもって何だろう？」と考え、子どもに喜んでもらえる絵本づくりを心がけている姿勢が子どもたちに通じ、その作品が支持されている所以だと思います。

子どもの「心」を育てる重要性と、「絵本」が大きな役割について考えさせられました。



水本樹里(田無第四中)

佳作賞

- ひら元さやか(栄小)
- 中村芽李衣(栄小)
- 石川理子(田無小)
- 高柳 賢(保谷小)
- 渡辺玲奈(百百合学園小)
- 丸山朋恵(東伏見小)
- 山東ゆうき(東伏見小)
- 市川正浩(けやき小)
- 藤井さやか(田無第四中)
- 長谷川俊夫(田無第四中)

大人の部

佳作賞

- 高橋裕香子(泉町在住)
- 今回の作文コンクールの選考にあたり、選考委員から次のような講評コメントがありました。
- 家族の会話がいい。家族のいい点をとらえている作品が多い。
 - 心打つもの、胸を打つものが多くあった。子どもたちは、家族をよく見ている。
 - けんかしても、いじわるし合っても家族っていい。家族のよさが伝わってくる。
 - 全体的にレベルの高い作品が多い。文章もしっかりし、伸びやかに、闊達な書き方に感心している。

図書館協議会から

平成13年度

第3回定例会報告

10月25日(木)、午後3時から5時まで、田無公民館3階会議室で開催されました。

会長あいさつの後、中央図書館から諸報告があり、続いて議題に関する状況報告を開いて話し合いました。

〈館長の諸報告〉

- 一日図書館員について(図書館だより既報)
- 中学生の職場体験学習について、次のとおり受け入れました。
 - 田無四中 4名 7月17日(火)
 - 田無三中 2名
 - 9月13日(木)・14日(金)
 - 田無一中 2名
 - 9月20日(木)・21日(金)
- 新任教諭の課題研修
 - 上向台小 8月7日(火)〜9日(木)
 - 泉小 8月15日(水)〜17日(金)
 - けやき小、碧山小、保谷小 8月7日(火)〜9日(木)
- 文化講演会は、こもれびホールで9月30日(日)に行った。絵本作家西巻茅子氏を講師に

議題

これまでの答申・意見の達成状況について

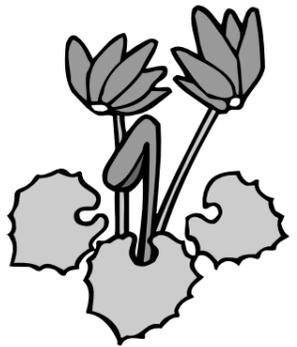
● 1997年(平成9年)6月6日に出された『保谷市公共図書館と学校図書館の連携についての提言』をとりあげ、このうち18の項目について、合併後、着々取り組んでいることが報告されました。次回協議会でも、引き続き達成状況について報告をいただき、検討することになりました。

協議会は公開で、今回は傍聴者2名でした。

ご希望の方は、図書館までお問い合わせください。

次回は、1月24日(木)午後3時から田無公民館3階会議室で行います。

(報告/木山碩夫)



作文コンクール

「私の家族」541編の応募

最優秀賞ながさきみのりさん(保谷小)

西東京市図書館主催の「私の家族」と題する作文コンクールには、10月31日の締切りまでに541編という大変多くの応募をいただきました。ありがとうございました。

この作文コンクールの目的は、自分の一番身近な家族の中で嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、感動・感激したことなど、家族について考えてもらおうと国の少子化特例交付金を活用して行ったものです。

応募された541編の内訳は、子どもの部531編(513人、1人2編の応募あり)、大人の部10編(1人)でした。

選考方法は、第一次選考は図書館事務局で行い、第二次選考は、第一次選考を通過した作品を小学校低学年を2区分、小学校高学年を2区分、中学校1区分の計5区分に分け、5人の選考委員が1区分づつを受け持って選考していただきました。

選考委員は、図書館協議会委員から野崎聡子会長、村田眞昭委



応募された541編の作文

子どもの部

最優秀賞

ながさきみのり(保谷小)

優秀賞

- 黒さわ真な(栄小)
- 永田真弓(けやき小)
- 渡辺ことえ(住吉小)
- 金光美奈(上向台小)

としょかんカレンダー

西東京市図書館をご利用いただきありがとうございます。
 定期休館日は毎週月曜日と祝日です。
 月曜日と祝日が重なった時は翌火曜も休館します。
 日曜日と祝日が重なった時は開館し、月・火曜が休館日となります。
 1・2・3月の開館日は次の通りです。

休館日

※新町分室は水曜日から土曜日、午後1時から5時まで開館します。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

※2/11~2/28は、電算システムの入替えて臨時休館となります。

お知らせ

2月11日(月)から2月28日(木)まで
 コンピュータ・システム統合事業のため
 全館特別休館します。

西東京市図書館の現在の蔵書管理システムは、旧両市の電算機種およびシステムが異なっているため、市内全館の蔵書検索ができず、合併以来市民の皆様には大変ご不便をおかけしてきました。

新市建設計画事業の中で、図書館コンピュータ・システムの統合という事業をお認めいただきありがとうございますので、今回市内の全図書館を休館して次のような事業を行うものです。

- ①各館の電源およびLAN工事
 - ②電算機器の入替え・設置・調整
 - ③システムの移行・調整
 - ④約65万冊の図書館資料データの統合
 - ⑤カウンターおよび事務室の配置替え
 - ⑥職員および嘱託員の研修等です。
- その他、インターネットによる蔵書検索・予約ができるように、また公共施設の予約管理システ

ムとのつながりも進める予定です。
 特別休館中は、コンピュータが使用できませんので、電話等による蔵書の所蔵調査・予約・貸出期間の延長等にお応えできません。市民の皆様にはご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

特別休館中の集会室・講座室のご利用について

下保谷図書館集会室・ひばりが丘図書館講座室につきましては、左記の時間帯でご利用いただけます。

- ★下保谷図書館集会室
 月～日曜日 午前9時～午後9時45分まで
- ★ひばりが丘図書館講座室
 火～日曜日 午前10時～午後6時まで